

令和6年度 住之江区区政会議

第1回 備える部会 会議録

1 開催日時 令和6年5月23日（木）19時00分から20時00分まで

2 開催場所 住之江区役所3階 第3-1、3-2会議室

3 出席者

〔区政会議委員〕

五十崎 晴久 委員、岡田 晋吾 委員、小林 純子 委員、
中川 隆夫 委員、濱島 孝夫 委員、本城 毅士 委員、
松岡 孝 委員

（出席7人／定数8人）

〔アドバイザー〕

山下 雅之 住之江警察署生活安全課防犯保安係警部補
魚井 宣孝 住之江警察署警備課警部補
畠中 俊雄 住之江消防署地域担当消防副士長

〔住之江区役所〕

吉田 政幸 副区長
岩永 明子 防災安全担当課長

4 発言内容

○岩永防災安全担当課長

皆さん、こんばんは。定刻になりましたので、令和6年度住之江区政会議第1回備える部会を開催いたします。事務局の住之江区役所協働まちづくり課防災安全担当課長の岩永です。よろしくお願いいたします。

それでは、本日出席いただいている委員の皆さんをご紹介します。お手元の名簿にてご確認ください。岡田部会長です。

○岡田部会長

岡田です。よろしくお願いいたします。

○岩永防災安全担当課長

濱島委員です。

○濱島委員

お願いします。

○岩永防災安全担当課長

本城委員です。

○本城委員

よろしくお願いいたします。

○岩永防災安全担当課長

松岡委員です。

○松岡委員

どうぞよろしく。

○岩永防災安全担当課長

五十崎委員です。

○五十崎委員

はい、よろしくお願いいたします。

○岩永防災安全担当課長

小林委員です。

○小林委員

よろしく申し上げます。

○岩永防災安全担当課長

中川委員です。

○中川委員

よろしく申し上げます。

○岩永防災安全担当課長

また、本日はオブザーバーとして住之江警察署、住之江消防署の方にも、お忙しい中、ご参加いただいております。ご紹介いたします。住之江警察署生活安全課防犯保安係山下警部補です。

○山下警部補

山下です。よろしく申し上げます。

○岩永防災安全担当課長

住之江警察署警備課魚井警部補です。

○魚井警部補

魚井です。よろしく申し上げます。

○岩永防災安全担当課長

住之江消防署地域担当畠中消防副士長です。

○畠中消防副士長

畠中です。よろしく願います。

○岩永防災安全担当課長

どうぞよろしく申し上げます。

本日は、現在の時間で全委員8名中7名のご出席をいただいておりますので、定足

数である2分の1以上を満たしておりますことをご報告いたします。

住之江区役所の出席者につきましては、配席表にてご確認をお願いします。発言する前には役職とお名前のほうをお伝えさせていただきます。

この会議には個人情報などの非公開情報がございませんので公開とさせていただきます。また、本日傍聴者はおられません。

なお、大阪市では、省エネルギーの取組としましてエコスタイルを実施しております。軽装での会議出席となりますのでご了承ください。

本日の議論の内容は、6月19日水曜日に開催予定の区政会議全体会で、部会長からご報告いただき、情報共有を図ってまいりたいと考えております。また、議事録につきましても後日公表となり、公表する際には、発言者と発言内容についても公開されますので、ご承諾いただきますようよろしくお願いいたします。広報や記録のために写真を撮影いたしますので、併せてよろしくお願いいたします。

それでは、本日の資料の確認をお願いします。資料上から、第1回備える部会と書かれた「次第」。次に「備える部会委員名簿」。片面が部会の名簿、裏面が全員の名簿になっております。3つ目が「配席図」。4つ目が資料1としまして「令和5年度住之江区運営方針振返り（案）について」というカラー刷りのものになっております。次に資料2としまして「区政会議について」。裏面が「地域活動協議会」についての資料となっております。最後に参考資料としまして、小さい冊子で「ペットと一緒にもしものときに備えましょう」という冊子を付けさせていただいております。不足はございませんでしょうか。

それでは、本日の会議ですが、現在策定に向けて進めております、「令和5年度住之江区運営方針振返り（案）について」ご報告させていただき、今年度以降の各取組につなげていけるよう、ご意見をいただきたいと思いますと思っております。

本日の会議は20時までの1時間を予定しております。スムーズな議事進行にご協力をお願いいたします。

それでは、ここから議事を開始しますので、部会長にお任せして進めていきたい
と思います。岡田部会長よろしく申し上げます。

○岡田部会長

それでは、議事を進めさせていただきます。本日は、先ほど課長の方からもご説明
ありましたが、「令和5年度住之江区運営方針振返り（案）について」議論をして
いただくということになってございます。早速ではございますが、事務局のほうから
まずは説明をしていただきたいと思います。よろしく申し上げます。

○岩永防災安全担当課長

それでは、具体的な説明に入らせていただきます。資料1をご覧ください。1枚
めくっていただきますと、令和5年度住之江区運営方針、経営課題3についての概要
を簡単にまとめたものを付けております。これまでの課題を踏まえた改善策も記載し
ております。備える部会では、安全安心なまちづくりということで、防災の取組、防
犯の取組について、資料に基づいてご説明させていただきます。

まず、3-1 災害に負けないまちづくり。こちらが防災の取組です。自助・近
助・共助・公助による防災力の高いまちを目指して、特に次の二つのことに取組みま
した。一つ目は、防災力の向上に向けた人材育成ということで、地域の人材育成とし
まして、地域防災訓練の実施。中学校を初めとする小学校等で訓練や学習会を実施。
また前年度に引き続きまして、地域防災リーダーを対象としました研修会を実施し、
広く区民に向けては、マイタイムラインや避難カードを活用した自助・近助の啓発、
分散避難の啓発を行いました。

課題としましては、浸水想定等の災害対応の知識や、地域の防災訓練に参加して
いただく啓発について、より効果的な方法を検討する必要があると考えています。

改善策としては、大阪防災アプリや区政会議でもご意見をいただきながら作成し
ました避難カード「携帯版」などの啓発ツールを活用して、住之江消防署さんとも連
携しながら、地域、学校、企業への出前講座や訓練説明会などの機会を捉えて、住之

江区の災害想定、浸水想定周知を行うなど、効果的な啓発方法を検討実施してまいりたいと思っています。

二つ目が、減災のための環境整備ということで、防災パートナーや津波避難ビルの登録の拡充に向けた勧誘、津波避難ビルや災害時避難所の場所を示す表示板の整備などに取り組ましました。今後も防災パートナーや津波避難ビルの登録の必要性を継続して啓発する必要があると考えており、企業、NPO交流会、セミナーなどの機会を捉えて、協力いただける企業などの拡充に向けた声掛けのほうを積極的に行っていきたいと考えております。

次に、3-2 犯罪のない安心して暮らせる環境の整備。こちらは防犯の取組になっています。目指す将来像が、区民の日常生活での安全を確保できている状態を目指しまして、特に次の二つのことに取り組ましました。

一つ目は、防犯意識の向上に向けた啓発。特殊詐欺被害防止キャンペーンや防犯出前講座、また特殊詐欺被害防止録音機の貸与等を実施しました。

課題としましては、区取組が区民の皆さんの目に触れる機会、頻度が少ないこと。また方法論として効果を感じてもらえているかというようなことが考えられまして、改善策として、動画やすみのえ情報局という住之江区独自の情報発信ツールを使った啓発や住之江警察さんと連携して、年金受給日に合わせたキャンペーンを行うなど、詐欺被害防止の啓発を強化していきたいと考えています。

二つ目が、街頭犯罪抑止のための環境整備ということで、防犯パトロールの効果的なコース設定ですとか、ひたたくり防止カバー取り付けキャンペーンの実施、また防犯カメラの適正な運用について行ってまいりました。

課題は一つ目と同じく、区取組が区民の皆さんに見ていただける機会、頻度が少ないのではないかとということで、改善策としまして、様々な世代の区民の方に知っていただく機会を充実させてまいりたいと考えています。

次に、前回までのご意見の共有ということで、ご意見を少し振り返りたいと思

ます。

6 ページをご覧ください。災害の備えの必要性を我がこととして捉えてもらうための方法としてご意見をいただいています。阿倍野防災センターを活用した研修や災害図上訓練、クロスロードといったものを体験してもらう。避難所の備蓄物資の量を知ってもらうことで、自助・共助の備えの必要性を知ってもらうといったようなご意見をいただきました。

次に7 ページをご覧ください。若い世代の方も含めた多くの方が防災の取組に参加してもらう工夫としまして、防災だけでは人が集まらない場合は、逆に人が集まるイベントの中で防災の啓発を行う。人が集まる機会に繰り返し啓発するといったご意見。また、各地域で防災運動会のような防災を模擬体験できる取組を実施してはどうかといったようなご意見をいただきました。

次に8 ページをご覧ください。こちらは全体会でいただいたご意見ですが、災害に備えてもらうためには、区民が知りたいと思う内容を発信する。災害想定を知ってもらう工夫として、VRを活用してはどうか。また、防災リーダーに向けて、クイズやワークショップなどの研修を行ってはどうかといったご意見をいただきました。こちらのご意見を受けまして、6年度の取組でいろいろ取り入れてまいりたいというふうに考えております。

次に、取組の紹介としまして、9 ページをご覧ください。一番下のクローズアップというところですが、令和5年度ですね、住吉川地域と住吉川地域に所在しておられる栗本鐵工所住吉工場との取組のご紹介です。昨年度栗本鐵工所さんに、住之江区の防災パートナーにご登録をいただきました。防災パートナー登録制度とは、実際に災害が発生したときに、区役所や地域と連携して、災害対応に当たる、ご協力いただけるパートナーとして事前に登録いただいているという制度になります。この防災パートナーになっていただいたことを受けまして、住之江消防署さんのリーダーシップの下に、住吉川地域と、この栗本鐵工所さんのほうが覚書を締結されて、災害

発生時の災害対応に加えて、消火活動においても連携いただくようになったという取組です。災害発生時には地域内で協力し合って、災害対応に当たることとなりますが、平時から関係作りをしておくことが大切だと考えておりますので、引き続き、津波避難ビルや防災パートナーを拡充する取組を進めてまいりたいと思っております。

次に、防犯のほうにいただいたご意見です。12ページをご覧ください。こちら詐欺被害防止に自動通話録音機の無償貸与が有効だと思うので、もっと周知を行うよというご意見をいただきました。区広報紙や特殊詐欺被害にあう可能性の高い市民の方へ注意喚起はがきというのを送付しておりまして、その中で録音機の無償貸与の案内も行っているところです。ご意見を受けまして、さざんかの今年の5月号でもお知らせとして案内をさせていただいたところです。ご意見いただいてありがとうございます。

次に、参考資料として、「ペットと一緒にもしものときに備えましょう」というものを付けさせていただいております。こちらは大阪府が作成しているパンフレットになっておりまして、ペットを飼っておられる方向けに、日頃からどんな対策をしておくべきかを伝える内容になっています。大阪市の避難所開設運営ガイドラインの中では、ペットの同行避難が基本となっておりまして、ペットと一緒に避難してきた方をどのように受け入れるかについては、避難所運営委員会であらかじめルールを考慮しておきましょうということになっています。パンフレットの中には、具体的に飼い主さんがケージやペットの食料などを用意しておく必要があること。予防注射などのワクチン接種状況を確認できるものを所持して避難所に連れてこられる必要があること。そういった避難所に来られる際に必要な準備、どういうものを準備しておいたらいいかというようなことが書かれています。

今期の区政会議委員の皆さんは、令和5年10月からご就任いただいておりますが、その前の任期の委員の皆さんに、ペットに関する備えについて広く周知する必要があるというご意見をいただき、去年の10月に住之江区防災セミナーを開催して、その

中で周知を行ったところです。

本日の意見交換のポイントですけれども、防災は、備えが重要だということで、災害の被害想定であるとか、平時から住居の手入れや家具の固定、避難先の相談、備蓄物資、簡易トイレ、非常用持ち出し袋、緊急時の連絡手段の相談など、いろいろな備えを行っておく必要があります。助かるためには、自助・近助・共助・公助のいずれも重要で、ご近所付き合いも備えの一つであって、平時から取組んでおく必要がございます。また、先ほどご説明しました、ペットの飼い主の方にも備えておいてもらう必要があるところです。

こういったことを、様々な世代のより多くの方に、防災そして防犯に備えてもらうための有効な情報発信の方法を、どんな周知、啓発、案内があれば取組もうと思ってもらえるか、重ねてのご質問になりますが、ご意見いただければと思っています。

とりわけ、ペットの飼い主の方に向けた有効な周知方法も含めて、ご意見、ご提案をいただければと思います。よろしく願いいたします。

○岡田部会長

ありがとうございました。

それでは、委員の皆様先ほど事務局のほうからのお話あったようなご意見をいただきたいなと思います。時間も8時10分前ぐらいを目標に終わりたいと思いますので、できるだけ皆さんにご意見をいただきたいなと思います。一人ずついきましょうか。

それじゃあ、濱島さんから。

○濱島委員

お願いします。

住之江区で「さざんか」というのがここありますよね。それで花の町は今度6月に防災訓練と研修のスケジュールを組んでいまして、こういったのを先にさざんかに載せることはできないんですかね。というと、住民の方が周知してくれて、防災訓

練にも参加が少しでも増えたら助かると思います。これのどこ見ても載ってないんですよ。

防犯の件で、南港桜小学校の隣にマリンハイツがあるんですが、南港桜小学校から門を出て中ふ頭の駅まで行くところには、防犯カメラがもう10台ぐらい並んでいます、続けて。しかし、マリンハイツの前には1台もない。そこは小学生さん通らないのかなと。で、マリンハイツの南へ行く、昔、警察の南港宿舎があった道があるんですが、そこにも1台もない。小学生はそこを通っているはずなんですけど、どうしてそういうふうになってるのか、それも聞いてみたいと思ってきたんですけど。お願いします。

○岩永防災安全担当課長

ご意見ありがとうございます。

まず、広報紙に地域の防災訓練の日程を載せるということなんですけれども、広報紙自体がまずは区のほうから情報発信をする内容を載せるということになっておりますので、一番目に載せる事案とするにはちょっと難しいかなというのがありますのと、あと、かなり早くに原稿の締め切りがありますので、日程的にも相当早くにその日に必ず実施するというようになっていないと、なかなか難しいかなというのがございます。

そういった形で地域から、直接、情報発信していただくツールとして、すみのえ情報局というポータルサイトを作っておりますので、もしよかったですらぜひともそれを活用いただければと思います。よろしくお願いします。

カメラの配置についてなんですけれども。カメラの設置を補助していたとき、今はもう補助制度はないのですが、補助をしていたときがありまして、そのときに地域の方にも、ここにつけるのが必要だと思うということでご申請いただいたところにつけてきたというような経過もございます。その1台もないというのが、ちょっと把握が私もできてはいないですけれども、今お答えできるとしたら、経過としてはそうい

ったことがあったということになります。

○濱島委員

昨日マンションの前で交通事故がありまして、マンションの防犯カメラを見せてくれと警察の方が来られました。

○吉田副区長

どっちかという、行政のカメラというよりは、地域でつけていただくときに、行政から一時補助金を出させていただいて、つけていただいたっていう形になります。だから、細かいところになるのですが、その後の電気代とか維持費については、地域等にご負担いただいているということになってきます。だからこの場所に地域として防犯カメラをつけたいと思っている場所に、2分の1補助なりでつけていただいているので、行政的にカメラを区や区内につけているという事ではないんです。だから補助制度のあったときに、そこの所有者の方のお考えとか、地域のお考えによって、ちょっと偏りがあるところは出てくるかなと。

○濱島委員

行政が勝手につけたのかなと思っていたのですが。

○吉田副区長

施設とかでつけているのは、もしかしたら、例えばショッピングセンターとか港湾の土地で、所有者がやっぱり必要だと思ってつけているものはあると思うんですけども、一般的に住民さん向けの防犯カメラは、地域の補助金でつけているものが、区役所が関与している部分については多くなっておりますので、その辺がどうしても、偏りができるという部分があるかなと思います。細かく1台ずつ見ていったらどうかというのはあるんですが。

○本城委員

こんばんは。安立の本城です。

防災訓練、もしくは夏の地藏盆であったり、夏祭りで交流をとって、防災訓練に

人を集めていきたいなというふうに思って、今年もやってみようと思ってたんですけども、すごく反対を若い子から受けましてね。義務的なことやったらもう人集まりませんよと。それで今回有志だけでフリーマーケットを4月29日に行いまして、土地が100坪ぐらい阿倍野管理センターの地域の中にあるんで、7ブースぐらいの有志の方が個別で出店していただいてね。そこに地域の方70名ぐらい参加していただいて、1ブース大体7、8千円ぐらいの売上げがあって、出店代は今回たまたま、本来であれば2千5百円、5千円ぐらい要るんですけどもね。200円にして、皆さん2時間ぐらいで楽しく終わっていただいて。これ一応半年に1回、3カ月に1回取っていきましょうと。その中で消防署の谷内さんとも話したんですけど、そういったときに30分でも入らせてもらえて、防災啓発をしていただいたら、若い人もその中で参加しながら、今回一応テストパターンでやらせてもらって。うちの安立連合の中でも福祉会館とか、老人憩いの中で利用している集会所の稼働率って非常によくないので、そういうのでノウハウを伝授しながら、その若いメンバーがまたフリーマーケットをやっていく展開であったり、その地域の人を活性化していこうというので、今回一応テスト的にやってみたら、若い子から次の出展ブースを増やしたいということで、友達のネットワークで15件ぐらいに今度はなる予定なので、これはまた一つ新しい知恵を若い人からいただいてね。我々から言うたら、もう回覧も回さんといってくれって言われたんですよ。何でか言うたら、お年寄りが来て、お年寄りが物を出したりすると、若い子が時期的に子育てのものを出したり、それが何か薄まってしまいうんで、若い子だけで、もう今回でも企画も運営も。アドバイスはこちらでしましたけども。町会長に一応チラシ貼らせてくださいよとか、私各戸配布若い世代にしましたけども。そこそこネットワークの中で広がりました、役員の方は、何で本城さん、町会長やのに回覧回してくれへんのかと言われてたんですけども、次回からまた回しますという形で。私も出店したいと提案される方も、地域の方から出てきたんで、楽しく、その中で進めていってつながりを深めていく。ペットボトルのSDGsのキャップ集めとか、

そういうのを子どもらにやってもらったり、風船膨らましたり、竹とんぼを作ったりとか、そういうブースも次構えていきたいというのが一つ。あともう一つが、このペットの一緒にということで、昨年12月29日に夜警をやったときに、子どもが60名近く200所帯の中でいてるんですけども、ペットの数ってどのぐらいいてるんですかねって言うたら、子どもの数以上いてるやろなど。そのときどうしますかっていったら、うちの副会長が、ペットのドッグランであったり、何かペットが温泉に行くところもあるんですね。そういうところに連れていったりされる方で、ペット非常に、ネットワークも持たれてるんで、防災訓練のときに、見守り犬の資格も持たれてるということ、夕方4時ぐらいには回っていただいているんですけどもね。こういうやつを結構皆さん欲しいなというふうに思っている。非常に関心が高かったのが、ポータブルのトイレとこのペットの件で、もう最後盛り上がり過ぎて終わったんですけどね。これは非常に皆さんご興味を持たれてるんで。それと予防注射、あそこやってないところがあるので、注意喚起できませんかという、逆にそういう相談もあったりしましたけれども。この2点が一度今回やってみたと、ご意見皆さん聞いた部分で広がってきた部分です。あと一つ見守り隊の件で、皆さんお仕事されてるんで、どンドン見守り隊のやられる方が非常に少なくなっている。逆に子どもが増えているんですけどもね。これは非常に私どもの地域では、もう65歳、70歳ぐらいまで皆さん働かれてる、パートに行かれる、時短で色々行かれるということ、ちょっと非常に子どもが増えている部分もあるんですけど、見守り隊の高齢化も進んでおりますので、その辺がちょっと逆にご意見いただけたらなというふうに思います。この3点です。以上です。

○松岡委員

こんばんは。加賀屋東の松岡です。

加賀屋東は町会の防災訓練、11月23日、これを定例化して、継続してやるということで、消防所のほうとも連絡が取れて、それを大きなイベントみたいな形でや

っていこうとしております。それから、加賀屋東小学校のほうから、児童の防災訓練をこの6月にするんですけども、大人の方が一緒に見守り、手伝い、その他で協力してほしいということで、町会のほうに依頼がありまして、その児童らの訓練にも、町会のほうで協力するというようなことを今計画しています。これは6月の予定です。以上です。

○五十崎委員

平林の五十崎です。こんばんは。

今日の課題で浸水想定とかそういうことを書いてますので、ちょっとその辺のことをしゃべりたいなと思っています。

前と重複すると思うんですけども、やはりまず、そういう災害に向けては知識が必要になってくると思います。まず、知るということ、それから備える。最終的には、私が思っているのは、防災って行動することだと思っています。最後はそれを備えるということを実際行動してもらわなければ何もつながらないと思うんです。そういうために、知識を得るために、いろいろ地域防災リーダーの研修とか、小中学校の研修とかやっていただいています。それはもう継続してやっていただきたいと思っています。それで地域防災リーダーも話を聞く一辺倒じゃなくて、前も重複しますがけれども、ワークショップ形式で、自分で、例えば簡易の避難カードですよね、実際その場で作ってみる、実際書いてみると。そういうやり方で体験したほうがいいんじゃないかなと思っています。あと、前も私ARということで出させていただいたんですけども、ちょっと調べましたら、スマホの端末によってちょっとできない部分、私のスマホもできないんですけども、ウェザーニュースで無料でARお元気シミュレーターというのがあります。あと、無料でもARの浸水体験とか、有料ですね、有料の部分もあるんです。例えば国土交通省の浸水ナビであるとか、気象庁の情報のツールとか、いろいろあるんで、そういうことも踏まえて、皆さんに周知していただいたらいいかなと思っています。前も私、南港東のほうで、高齢者の方が話してるのを聞いて、海拔何メートル

ルってよく書いてますよね。あんた、ここまで水くんねんでって。がくっときました。違うんや、それは。海拔や。という方もいらっしゃいました。ですからその辺の情報いうのを、やっぱり知っていただくというのが大切かなと思っております。それとあと、先月私は能登半島の珠洲市のほうへ3泊4日で行って来ました。やっぱり改めて感じたんは家屋の耐震化です。これ何ぼ備えても、家が潰れてしまったら何もなりません。耐震化いうのもいろいろ情報発信をしていただきたいなと思っています。ちょっと調べたら、大阪市のどっかの担当局で、何か一応条件はあるみたいですね。2000年以前の建物でないと一応そういうものが、補助金が受けられないとか、そういうのがあると思います。それとあとハード面で、例えば全部は無理でしょうけども、大和川の安立さんの辺りですか、その家屋が流出する恐れがある区域だけでもいいんで、例えば浸水深いう表示はあると思うんですけども、実際、5メートルぐらい、ここまで来るよという、何か実際に目で見て体感できるみたいな。そこで水面があって、下でちょっとお魚が泳いでるみたいな、そういう何かイラストとか、そういうのがあれば、賛否両論あると思うんですけど、ちょっと怖いなという人もいらっしゃると思いますが、何かそういうのもアイデアの一つかなと思っております。

防犯に関しましては、やはり私感じたんが、ATM行くと、ATMで注意喚起の放送流れてます。それから前も郵便局へ行ったときに、婦人警官の方がぼーんと立ってるんですよ。始め何をされてるのかなと思ったら、そうか、ATMの前にいるから、そういうのを見張ってるのかなと思って。そういうのも自分自身、あっと思ったんですね。そういうことも大切かなと思いました。すいません。以上です。

○小林委員

こんばんは。粉浜の小林です。

今1月1日の地震からずっと、それ以外にも災害っていういろいろな形があるなってすごく最近思ってるんですけど、今回この自助・近助・共助ということで、連合とかで学校が三つあるので、その学校ごとに年を変えて順番に防災訓練とかっていうのを

コロナ前まではしてたんですけども、コロナで何年か中止になった後、なかなか新たにそういう学校での防災訓練というのがまだ復活してないように思うんです。それはそうなんですけれども、やっぱり自助・近助・共助となると、もっとちっちゃい範囲での訓練というのも必要なんじゃないかなっていうのを、最近町会長が言い始めまして、町会で防災訓練されるっていうのも聞いた。やっぱりそういうのを実施している町会があるんだっていうのがすごく勉強になりました。本当に町会の中にちっちゃい公園があるんで、そこで夏祭り等もするんですけども、その場所を使って、みんなが一旦集まって防災訓練をしていきたいっていうことがあるので、それをぜひ近いうちに実現していきたいと思うし、そのためのサポートをまた消防の方々とかにもお願いしていきたいなと思いました。

公園なんですけど、市の指定の公園とかではなくて、町会だけで持ってる公園なので、以前から子どもたちが遊ぶ時間帯とかのことも含めて、防犯カメラの設置っていうのは、もう10年ぐらい前から話題にはなるんですけども、誰が管理するのかとか、さっきの電気代の話もあったり、あと画像チェックするのに、何でしたっけ、個人情報とかって問題ないのかっていう話があって、全然話が進んでこなかった。毎回立ち消えになってたりとかしたんですけども、今はそういうことに対しての補助はないんですか。

○岩永防災安全担当課長

防犯カメラそのものへの補助制度というのは、今はない状態になってまして、もし地域でつけたいというご希望があり、その後の維持管理もなさるということであれば、地域活動協議会の補助を使って設置いただくということは一つ考えられると思います。

○小林委員

はい、ありがとうございます。じゃあそのように。町会長が変わったらどうなるのかという話もあったりとかするので、それも、今やっぱり細かい、何か嫌な犯罪が

少しずつやっぱり増えていると思うので、そういうところはもうちょっと、何て言うのかな、柔軟に考えながら進めていきたいなっていうのを、今思いました。とりあえず以上で。

○中川委員

こんばんは。海の町中川です。

皆さんいろいろやっておられますけど、うちあんまりやっていません。防災訓練は一応去年から復活しまして、今年も10月でしたかね、まだ打ち合わせの段階なんですけど、学校、小中一貫なんで、中高一貫も呼んでやろうかという形で。あと、保育所、施設、住民集めて、中学校、小学校が並んで、その後ろに住民が、その地域に集まるということで、帰りは一緒に帰るとか、そういう形でやろうかと思っております。去年もそういう形でやらせてもらいました。

ペットなんですけどね。南港は原則ペット禁止なんですけど、たくさんいます。うちのマンションでも一代限りでやってますけど、何代続いてるか分かりませんが、知らんうちにおられなくなって、また増えてるという形になってますのでね。その辺がペット飼っておられる方、飼っておられない方、もういろいろありますので、その辺はマンションごとにいろんなことがあるみたいです。格式があって。

それとちょっとこれ花の町の方に聞きたいんですけど、中学校の防災、町歩きですか、やられてましてですね、あのときに南港の中央公園のトイレの設備があるところですね、あれの管理とかはどうなっているのかなと思って。

○濱島委員

今回は参加してない。やったというのは聞いていますけど。

○中川委員

私は一回、いつやったか、どっか大学の先生と一緒にずっと回らせてもらって、それで防犯カメラもここはついていますが、どうのこうのって。で、白波団地のほうはね、防犯カメラの位置を変えてもらったんです。より一層見えるようになりましたけ

ど。最近は子供もあんまり時間的に遊んでいない。前は9時に回っていたんですけど、8時ぐらいに回ったらもう誰もおりません。

○岩永防災安全担当課長

中央公園のトイレの話ですが、今ちょうどそういう話が市の中でも出ています。管理しているところが建設局の下水道部になりまして、災害が起きたらそこから設置にやってくるということになっております。

○中川委員

できるかな。機能せえへんような感じで。

○岩永防災安全担当課長

その辺りを、これから機能するような取組を建設局のほうも進めていくというふうに聞いております。能登のこともありましたので、そういったところの見直しも行われていると聞いております。災害時の設置にあたって、どこが何を設置するといった役割分担も決まっていると聞いています。

○濱島委員

定期的に清掃していますよ。

○中川委員

本当ですか。

○濱島委員

はい。

○中川委員

そうか。見た感じ全然。

○濱島委員

きれいにしています。

○五十崎委員

ただ、あれ公衆トイレの中にマンホールトイレがあって、住之江公園みたいにマ

ンホールがぽんとあるだけ。建設局が囲いをもってきてやるということやね。

例えばひどい揺れの際に、排水の部分が壊れちゃったら使えなくなるっていうこともありますんで。能登の際も僕ボランティアセンターでちょうど大きなタンクを車に積んで持ってきた人、これに風呂の水をちょっと入れている。せやけど排水ができへんと。まだ水を汲み出して、それが大変やって言うてはりました。だからそういうこともあるんで、そういうのも周知徹底しないと、マンホールトイレがあっても使えなくなる場合もあるから。前言ったように、私は簡易トイレをお願いしたいと思えますって。今は能登でも困ってはります。マンションで今注文してるんですけど、自分とこのマンションの自治会の人に配ろうと思って、簡易トイレ今注文してます。そしたらやっぱり能登のほうへ支援することで、在庫が切れているの、ちょっと待ってくださいねという、そういう状況になっています。一番は匂わないです。私も実際やってみたんですけど、ちゃんとした匂い袋があるところでやって、きちんとして処理剤でやったら臭わないです。大丈夫です。後の処理は家で置いとかなあかんという現実問題がありますけども。すいません。そういうとこですね。

○中川委員

今、詐欺もかなり多様化してますね。せやから、そういうようなこともちょっと、老人ホームに入ってどうのこうのとかね。いろんなケースがありますので、それも注意するという形をお願いします。

○岩永防災安全担当課長

ありがとうございます。ケースにつきましては、本当に警察署さんのほうでなさってらっしゃる安まちメールっていうのがあるんですけども、そちらのほうで住之江区役所にも情報共有していただいています、こういうことがあった、こういう手口で声をかけてくることもあるっていうのを、もうほとんど日々ですね、日々、住之江区のエックス、フェイスブックでも発信させていただいていますので、ご覧いただいたらと思います。本当にほぼ毎日、朝晩きているような状態ですので、いろんなケ

ースをご覧いただけたらと思います。

○中川委員

見れない人も多いですね。

○本城委員

スマホ教室とかやってもらっていますよね。積極的にね。みんなお子さんから、携帯はあんまり触るなど。詐欺にあうからって。もうこんななっているんで。

○岡田部会長

私のことは全然しゃべってないんで、私のほうも、もう時間がないんですけど、一言ぐらい。私のところは、防災訓練はもちろん連合単位でもやっているんですけども、まずは自分とこの町会というか、うちはマンションごとが町会なんで、町会単位でまずやって、それから振興町会と両方やるようなことで、今はずっとマンションで1年に一回やっているんですけども、それとは別に防災展とあって、簡易トイレの展示をしたり、発電機を展示して実際に動かしてもらったりとか。一番効果的だったのは、簡易トイレに実際水を流して凝固するところを見てもらうと、皆さんあっとこう、驚きなさって、特にご高齢の方なんか、購入はどうしたらいいんですかとかいうご質問を受けたりとかいうようなことで、その都度対応したりしてまして。それとこないだはマンションの自治会のほうで、簡易トイレを、50個単位のやつを各戸配布したというようなこともやりました。

それとペットなんですけども、これもマンションでペットを飼ったらあかんですけど、一代限りは許可をして、それがずっと飼育者自治会っていう名前にしてまっすけど、ペットの自治会を作ってるんです。ペット対応の自治会を。もちろん会費を集めて活動はしているんですけど、今そのペット自治会でも、先ほど事務局のおっしゃったように、ペットをどうすべきかというのも、ペットを飼ってる人の総会のときに、こんなも用意せなあかんでという資料を渡したり、実際にどこにそのペットを連れて行こうかと。避難所にはちょっと無理だろうから、自分たちでマンションの敷地内

に何かそういうペット村を作ろうじゃないかとかね、というようなことを、ペット自治会というペット飼ってる人だけでお話をしているような状況です。ですから、徐々にそういうゲージも大きいゲージを買うとかいうことをだんだんともうちょっと煮詰めていこうかなと思っているところでございます。

それと、先ほど若い人の話、最近うちもそうですけど、若い人がなかなか集まらないのでねとおっしゃって、別々にやったら成功することは、やっぱり多様化ということなんですかね。年寄りバージョン、若者バージョンというのがいるという理解なんですね。そうすると、先ほどから防災に対する周知の方法ね、どうするかいうのも、若者向けの周知のやり方と、ご高齢の方の周知の仕方いうのを考えないといけないかんかも分らないですね。

○本城委員

お年寄りはまだ回覧板。あと若いメンバーはもう全員スマホです。

○岡田部会長

なるほど。それとお祭りか何かも、先ほどフリーマーケットやるとおっしゃったんですけど、フリーマーケットやると若い人が集まってくるんですか。

○本城委員

避難所開設と同じように、車を持ち込んでテント張ったりとか、自主的に物を作れる区画だけ整理してあげて各自やらしてもらってイメージでやってるんで。5百円で。お金が生まれて、コミュニケーションがあって楽しい。集会所行きたいなというので、お子さんが寄ってくると親も捕まえやすい。

○岡田部会長

ですねえ。それをね、うちも狙ってるんですけどね。なかなか今のところ難しく。おっしゃるように、何かいいアイデアで、若い人用のやつをやってるとだんだんと、一緒に最後はなるようなことも考えたらいいなと思うけど、なかなか進んではないですけど。ただ、マンションでもうち祭りをやってるんです、マンションだけで。

町会というか、連合の祭りとは別に。そこでは子どもさんを相手にしたやつやってるんで、物凄い人が集まってきはるんですけどね。線香花火大会とかやったりとか。そうすると小学校以下の方もおいでになるんですけどね。それが今度防災訓練になると、なかなかです。そういう祭りではね、集客できるんですけど、防災訓練で若い人たちの集客をね、今んとこなかなか無理ですなあ。そこを何か考えないかなんかと思っていると。それと浸水想定の高さというので、先ほどもね、五十崎さんもおっしゃってあったんだけど、僕は電柱に貼るべきかなんかと思ってるんですけどね。ここまで水没、ハザードマップではここまで水没しますよというようなことをね。これは西区に行ったら、消防署の入り口には、ここの住之江区役所も入り口に貼ってありますよね。ここまで水没。それを消防署の入り口のところにキリンの絵があって、キリンの高さのところ、ここまでが水没しますっていうようなのを入り口のところに貼ってありました。

○五十崎委員

西区はみなその絵を描いて表示している。

○岡田部会長

だからやっぱり、なんか先ほどおっしゃったように、海拔何メートルという表示が、西成なんかまだ今だってそれ使ってはるんですけど、誰も意味が分かってないですよ。海拔何メートルだから、だからどうするんやと。だからおっしゃるように、僕は水没高さとか浸水高さいうのを何か分かるように。ハザードマップに書いてある浸水予想高さとか何かいうので、それ電柱に貼ればいいのかんかと思ってるんですけどね。

○五十崎委員

お金もかかること。

○岡田部会長

そうそうそうそう。

○五十崎委員

地域によっても危険の状態が違いますもんね。

○岡田部会長

そうですね。

○五十崎委員

こっち側、安立さんから新北島とも違うし、南港さんも。住之江区の中でもちょっと違うんでね。そやから、よっぽど危険な、先ほど私が言った、浸水で大和川があふれたら木造家屋が流される可能性がある地域でも中心に、そういうのをやったらどうかなどは思ってるんですけどもね。

○岡田部会長

そしたら、どうでしょう。もう何か言い足りないことがあったら言っていただいで。

○濱島委員

一つだけいいですか。

花の町今年も夏祭りを行いますので、今度区役所のそういう啓発の件で、なんかちょっと、例えばひったくり防止とか、そういうのぼりを立てたり、そういうのをしたらどうかと思うんですけど。

○岩永防災安全担当課長

日程とかもうお決まりですかね。

○濱島委員

7月27日だったかな。

○岩永防災安全担当課長

またご相談させていただければと思います。

○五十崎委員

私も一つだけ、言い忘れたことあって、すみません。

ちょっと提案なんですけども、そういう啓発活動を地域末端に周知させようと思

ったら、例えば講師の育成をするという。地域で、その地域でやるのか、区全体でやるのか、そういう講師を育成して、地域で勉強会をしていくという、そういった伝える語り部みたいな感じで、そういった人を人材育成の意味でもやったらいいのかなと思ったんですけど。ちょっと負担にはなるとは思うんですけども。以上です。

○岩永防災安全担当課長

ありがとうございます。そういう方がやっぱり増えていかないと、どんどん広がらないとは思っていますので。防災リーダーさんがそういう役割を担っていただければと思っていますので、研修の内容とかいろいろ考えていきたいと思っています。ありがとうございます。

○岡田部会長

それでは、時間も来ましたので、今日の備える部会はこれで終わりたいと思います。今日のご意見等は、事務局のほうで整理をしていただいて、今度6月19日が全体会議でございますので、皆さんも日にちを覚えていただきまして、それに基づいて整理をしていただいて、私のほうから備える部会としての報告を全体会議でさせていただくというようにしたいと思います。

本日は、長い間本当にありがとうございました。

今後ともまた、今日しゃべり切らんかったご意見等があったら、何か整理していただいて、なかなか一時間では議論もできない状況もございますので。これから全体会議が6月19日でございますので、それを事務局のほうで整理をしていただいて、それを私のほうが報告するというのでいきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

それでは、どうも長い間ありがとうございました。

○岩永防災安全担当課長

本日は長時間にわたりご議論いただきましてありがとうございました。いただいたご意見のほうはしっかりと受け止めまして、今後の区政に反映していけるように取

組んでまいりますので、引き続き、よろしくお願いいたします。

本日の議論を踏まえまして、部会長から指示がございました全体会議で報告する資料につきましては、事務局と部会長のほうに一任いただくということでよろしいでしょうか。

それでは、これで住之江区区政会議備える部会を閉会してまいります。6月19日全体会を開催する予定です。よろしくお願いいたします。

本日はありがとうございました。

以下余白